

検診機関における要精検率について

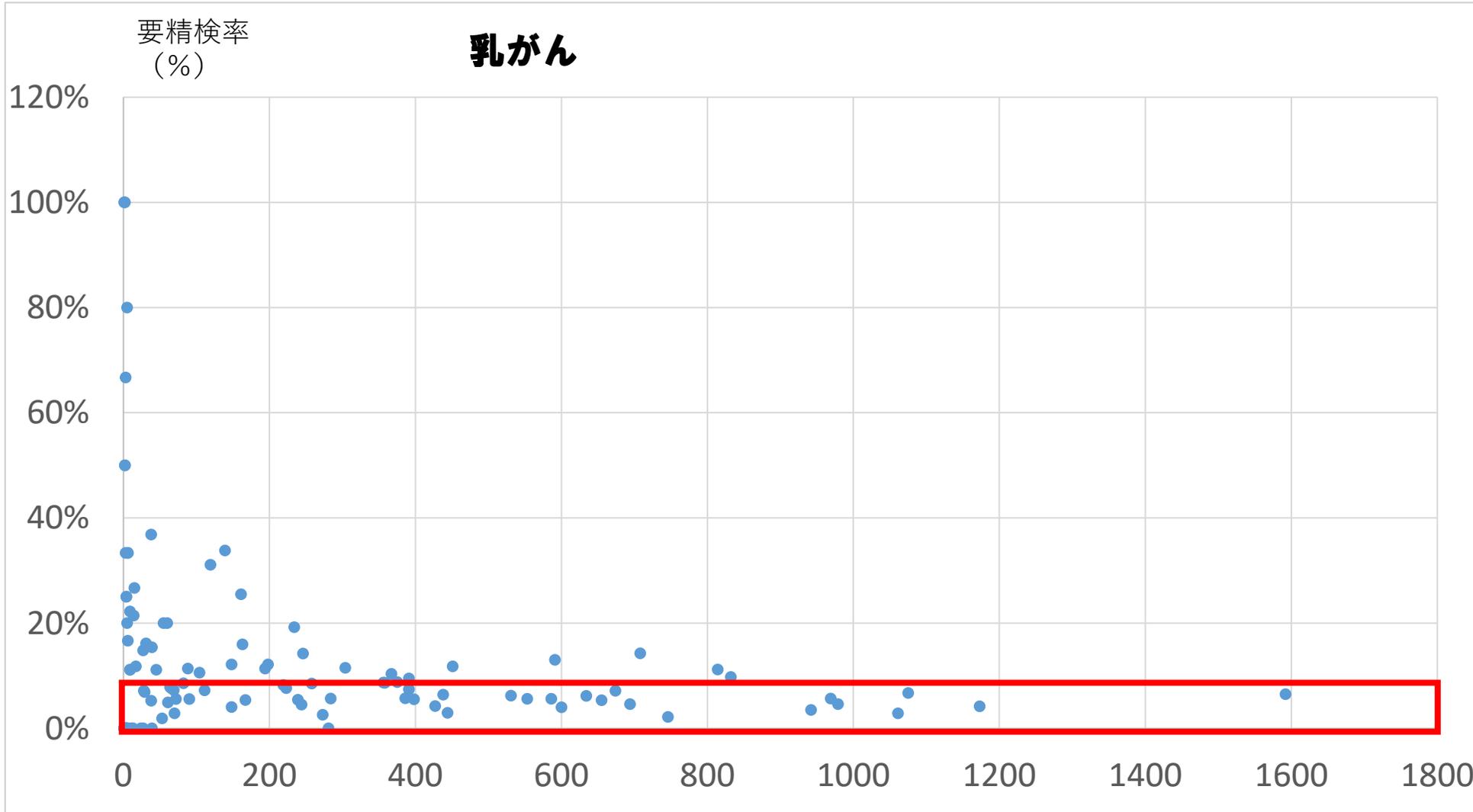
長崎県では、令和3年度（令和元年度実施分）より各市町あて「検診機関毎の精度管理指標」の調査を実施しています。

具体的には、市町が委託している検診機関の精度管理指標値（受診者数、要精検者数、精検受診者数、がん発見数等）をがん種別に報告いただいています。

今回、令和元年度実施分の精度管理指標値を集計しました。

要精検率については、許容値を超える医療機関も複数見られたことから、該当する医療機関に対して、精度管理の状況等を確認しながら、必要時改善におけた働きかけを検討しています。

要精検率の分布図（検診医療機関ごと）



	許容値
要精検率	11%以下
精検受診率	80%以上
がん発見率	0.23%以上
陽性反応的中度	2.5%以上

許容値
11%以下

受診者数 (件)

要精検率	医療機関数	検診受診者	要精検数	要精検率(%)	精検受診者	精検受診率(%)	発見がん数	がん発見率 (がん発見/検診受診者(%))	陽性反応的中度 (がん発見/精検受診者(%))
0-7	57	16002	740	▼4.62	689	93.11	70	0.44	▲10.16
7~11	18	5968	491	▲8.23	454	92.46	28	0.47	6.17
11~	41	5079	763	▲15.02	689	90.30	42	▲0.83	▽6.10

①

②

③

④

- ①受診者あたりの要精検数には有意差あり。
- ②要精検対象あたりの精検受診者数には有意差なし。
- ③精検受診者あたりの発見がん数に、有意差あり。
- ④検診者あたりのがん発見数は、有意差あり。

全体の要精検率は7.4%

要精検率が高い医療機関の検診者には、有症状者が含まれる可能性が高い。
要精検率の高い医療機関では、陽性反応的中率が低い。